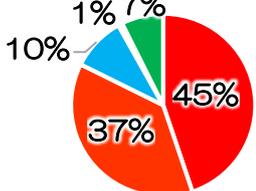
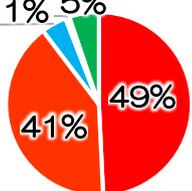
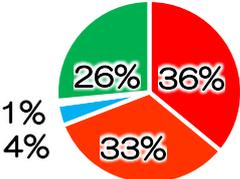
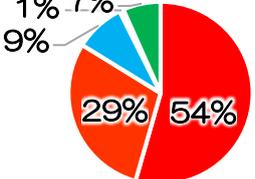
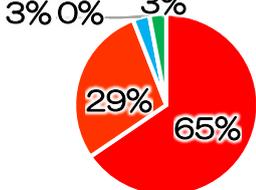
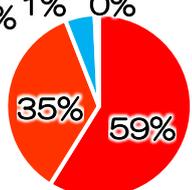
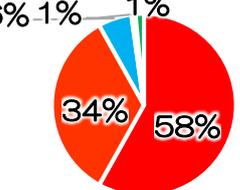
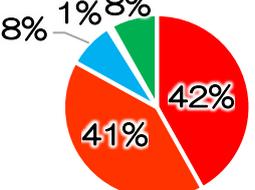


令和5年度学校評価【後期評価】について

今年度も、あとわずかとなりました。保護者の皆様には日頃から本校の教育活動への御協力、ありがとうございます。さて、としま教育ビジョンに基づき実施された後期学校評価では、たくさんの保護者の皆様に御協力をいただき、ありがとうございました。

今回の結果を受けてよりよい学校づくりができるよう計画を立てて、学校全体で取り組んでいきます。また、今回も自由意見でいただいた御意見も踏まえながら、改めて、巣鴨小でどのような活動を行っているのかお伝えしていきます。引き続き学校ホームページにアクセスいただいたり、ご家庭での話題にいただいたりすることで、より一層保護者の皆様と共に教育活動を進められるよう努めてまいります。

<p>設問 ※紙面の都合上、設問を短くしています。</p> <p>「わからない」</p> <p>否定的</p> <p>肯定的</p>	<p>I-1 小中学校への就学時に適応できるよう工夫している。</p>	<p>II-1 体験的活動や話し合い活動などを通し、工夫した授業をしている。</p>	<p>II-2 ICT機器を活用し、分かりやすく工夫した授業をしている。</p>
<p>小学校から中学校へ進学すると、6年間慣れ親しんできた小学校生活から学習環境や生活スタイルが大きく変わります。その変化に戸惑う「中一ギャップ」の予防のため、同じ中学校区内の西巣鴨中学校と朋有小学校の「一中二小」で小中連携教育を推進しています。昨年10月30日には本校で授業公開を行い、指導内容や指導方法について情報交換を行いました。教員同士が、お互いの教育活動について知り、自校の教育活動に生かすことが、進学時の子供たちの不安を軽減し、さらに期待を膨らませていくことにつながります。今年度の「西中を知る会」では、中学校で生徒会の説明を聞いたり、中学校の先生に授業をしていただいたりしました。今後も一中二小で連携を図り「中一ギャップ」の解消に向けた取組を推進していきます。なかなか保護者や地域の皆様が目に見えるところでの取組ではありませんが、確実に子供たちの安心につながっていると実感しています。</p> <p style="text-align: right;">教務主任</p>			
<p>III-1 道徳科の時間等を通して、あいさつや礼儀等、規範意識を育てている。</p>	<p>III-2 心の教育を大切にし、互いを尊重し合う思いやりの心を重点的に指導している。</p>	<p>IV-1 休み時間や体育の時間を中心に身体を動かす時間を十分に確保し、体力向上を推進している。</p>	<p>IV-2 健康教育として「お昼の放送」や「給食だより」等で、「食」への意識や関心を高めている。</p>
<p>なかよし班は、1～6年生で構成されたたてわり班での活動です。月に一回のなかよし班遊びの他、ゴミゼロ清掃や巣鴨会議もなかよし班で行います。6年生が企画・運営をして、異学年で楽しく遊んだり、タブレットルールを考えたりしています。6年生は集団をまとめる力や下学年の児童と適切に接する態度を身に付けていきます。また、そのような6年生の姿が1～5年生にとってのめざす姿や憧れとなり、異年齢の友達や普段関わりの少ない友達との接し方を学んでいきます。</p> <p>高学年になると、中には「自分が楽しい」から脱却して、下学年の子供たちの模範となることにプレッシャーを感じることもあるようです。しかし、自分が考えたことで、下級生が喜んでくれることに大きな喜びを感じ、自主的に行動しようとする児童が育っています。6年生だけでなく、4年生・5年生も協力して活動していけるよう学校としても工夫していきます。</p> <p style="text-align: center;">なかよし班担当</p> 			

<p>V-1 いじめアンケートを年3回以上行い、適切な友人関係の構築やいじめ防止に力を入れている。</p>	<p>V-2 学校行事ごとや節目ごとの振り返りを通して、児童の良さを伸ばそうとしている。</p>	<p>V-3 アレルギー対応、発達障害、補充的学習など、保護者と連携を図り、個に応じた指導をしている。</p>	<p>VI-1 児童が学習や学校行事に自主的に取り組めるように工夫している。</p>
			
<p>1月の学校便りでは、巣鴨小の「防災・防犯」についてお伝えしました。安全・安心の観点から、今回はさらにしぼって「避難訓練」について、お知らせします。</p> <p>避難訓練は、在校中に災害が発生した場合、集団で適切に行動して安全を確保すること、訓練を通して身に付けたことが、普段の生活の中でも生かされ、緊急時に自分で自分の命を守ることができるような判断力を向上させることを目的としています。</p> <p>巣鴨小では、避難訓練を年間11回実施しています。火が発生した場合や地震による揺れを感じた時、緊急地震速報が流れた時など、様々な場面を想定して行います。学習中だけでなく、休み時間や朝の時間、まとめの時期には予告なしで行うことで、子供たちに、自分で考えて行動する力を育みます。豊島消防署に協力していただくこともあります。子供たちの様子を見てお話をいただいたり、3年生は消火器体験を指導していただいたりしています。</p> <p>また、巣鴨小の大きな特色の一つとして、「地域安全安心パトロール」が挙げられます。町内会の皆様の御協力により、地域での子供たちの安全も守られています。</p> <p style="text-align: right;">生活指導・避難訓練担当</p>			
<p>VI-2 学校行事ごとにアンケートを取り、学校の経営改善に生かそうとしている。</p>	<p>VII-1 ホームページや学年便り、保護者会、Classroom、安全安心メール等で定期的に情報発信している。</p>	<p>VII-2 社会的状況を踏まえて感染防止対策をとりながら、工夫して学習や学校行事を行っている。</p>	<p>VIII-1 友達の思いや考えを受けとめ、自分の思いや考えを伝えられる子どもを育てる指導の工夫をしている。</p>
			
<p>今年度、本校では、「生き生きと学びに向かう子供の育成 ～子供の思いを膨らませる活動を通して～」という研究テーマを掲げ、1・2年生の生活科、3～6年生の総合的な学習の時間を通して、校内研究を進めてきました。</p> <p>低学年では、身の回りの環境に目を向けて、興味をもったり、疑問に思ったりした「気付き」を大切にしながら、もっと調べたいこと、聞きたいことを追究する、子供主体の学習を行いました。中学年では、大塚の街にある「たから物」を探したり、身近な環境問題を探究的に学習したりしました。学んだことを他学年に伝えたり、全校に節水を呼びかけたりするなど、子供たちの行動力が発揮されました。高学年では、「課題を見付ける」「情報を集める」「分析・計画する」「実行する」という探究的な学習のプロセスの中で、思考ツールを使って自分の考えを整理し、グループやクラスでの話し合いを繰り返しました。自分たちの力だけで解決が難しいことは専門家からアドバイスをもらいながら、何としてでも諦めず、最後まで解決しようという高学年らしい粘り強さが見られました。</p> <p>巣鴨小は、数値で測ることのできない探究心や頑張る力、コミュニケーション能力などの「非認知能力」も大切に育てています。これらの能力は、学力や運動能力を伸ばしていくためにも必要な能力だと捉えています。</p> <p style="text-align: right;">研究主任</p>			
<p>保護者の皆様からいただいた御意見(自由記述欄も含み)は職員全体で共有し、これからの教育活動に、すぐに生かして取り組んでいきます。学校生活への御質問、御意見は担任、副校長へお知らせください。</p>			